



全国学力・学習状況調査 と土曜日授業の実施 について

川野栄美子 議員

問 本市が木工のまちとして生き抜くためには、基本となる教育を充実させ、誇りを持つ子どもを育てる必要がある。本年度4月に小学校6年生、中学校3年生を対象にした全国学力・学習状況調査が行われたが、本市はどれくらいの実力であったか伺いたい。

答 昨年度調査の平均正答率を全国や県と比較すると、小学校では国語、算数とも少し上回っている。中学校では国語、数学とも少し下回っている。しかし、中学校では生徒の規範意識も高揚し、落ち着きも見られ、学習意欲も高まっていることから、各学校の頑張りがさらに見えてくるものと期待している。

問 世界に通用する人材育成に対する本市の取り組みを伺いたい。

答 中長期的な教育振興プログラムを作成し、志を持ち、展望する力、感謝しつなげる力、誇りを持ち挑戦する力の育成を進めている。

問 土曜日授業の本市の取り組みを伺いたい。

答 土曜日授業は、保護者や地域の方々の教育活動に対する協力が条件で、本年度は小学校で学級懇談会、水泳記録会など5回程度、中学校は授業参観、文化発表会、親子規範意識講座など3回程度の予定をしている。



植木市政8年について

平木 一朗 議員

問 市長就任以来、2期8年にわたり、待ったなしの行政改革、経済・財政・雇用・人口流出、環境問題、合併問題などどれも難しい課題ばかりで、この緊急事態を乗り切り将来に向かって展望を切り開くために健全財政に努めるべく、市長自身、決死の覚悟で行動されたことに敬意を表したい。

植木市政8年間、色々な政策を掲げ達成できたもの、できなかったもの、道半ばのものがある中で勇退されるわけである。政策とは手段であり、本来その向こうにある植木市長自身の大局を描いたうえでの手段であると思うが、その辺りの思いを伺いたい。

答 今期で退任する身であり、自分の思いについて多くを語ることは、あまり適切ではないと思う。あえて申し上げれば、2期8年は私にとり十分に長い時間であった。

その中でやるべきことは一定程度のことは達成したと思っている。できなかったことはあと3年、4年、あるいはそれ以上時間をもらっても達成できるものではない。新しい人に新しい発想で、市政を頑張っていたかどうかとが適切だろうとの判断のもと、2期8年で退任したい。



新たな大川再生に向けて

永島 守 議員

問 市長は去る者として多くを語れないということだが、私としても最後の質問となる。市長の行政知識、能力は誠にすばらしく、その能力を生かされなかったことは残念である。市長とは本会議等で幾度となく意見の衝突もあったが、私はあなたと出会いそしてこの議場で論戦ができたことは誠に光栄でした。これまで互いの頑固さが解け合うことはなく、思えばあなたの頑固さは一流でしたが、よくよく考えるとあなたみたいな頑固者が必要な時代だったのかもしれない。あなたはお世辞が言えない一番正直な人間だったのかもしれない。私はこれまで市長に申し上げたとおり政治行政に関わる者が同一方向をもって行う政治こそ立派な結果が得られると今も思っている。市長は任期満了を迎え残された市政をどのように思われているか伺いたい。

答 2期8年は自身にとり非常に長い十分な時間であった。やるべきことはある程度はやれた。残された件については後4年、あるいはそれ以上の時間をもらってもそう簡単にできるものではない。互いに立場は違っても共通目的のもとに仕事をした仲間であり、今後は一市民として義務と責任を果たしたい。